
名古屋大学大学院国際開発研究科
2016 年度大学世界展開力事業（通称 Campus ASEAN）
長期（6 ヶ月）学生派遣プログラム
募集要項

1. 募集目的：

2012 年、名古屋大学大学院国際開発研究科は、法学研究科・法学部・法政国際教育協力研究センター、経済学研究科・経済学部、農学部・生命農学研究科・農学国際教育協力センターとともに、文部科学省が支援する“大学の世界展開力強化事業”に“ASEAN 地域発展のための次世代国際協力リーダー養成プログラム”（通称 Campus ASEAN）という構想名で応募し、採択されました。ASEAN 地域と日本をつなぐ経済、法、政治、外交等の諸分野で共通認識をもった次世代の担い手、即ちリーダー育成が目的とされています。この目的の下に、名古屋大学と、シンガポール国立大学、チュラロンコン大学、フィリピン大学ロスバニョス校、ガジャ・マダ大学、カンボジア王立法経大学、ハノイ法科大学、ホーチミン市法科大学の 7 大学とがコンソーシアムを形成し、短期的および長期的な学生の交換を通じて、共同教育基礎作り、相互理解を深めていきます。

そのプログラムの一環として、今回は、「単位取得を伴う学期（6 ヶ月）単位の派遣事業」への参加学生を募集致します。2016 年度秋学期、国際開発研究科が主にカウンターパートとしている、チュラロンコン大学（タイ）とフィリピン大学ロスバニョス校へ、半年間留学し、単位取得を伴う派遣を行います。コースワークを履修させることを通して、国際協力リーダーを目指す動機づけを行い、同時に、将来の国際協力リーダーに必要な、異文化理解活用力の向上を図ることが目的です。

2. 応募資格及び条件：

- (1) 名古屋大学大学院国際開発研究科博士課程前期課程または後期課程に在籍する学生（休学中を除く）。なお、指導教員の許可を必要とします。
- (2) 本プログラムの趣旨や目的を充分理解し、それに沿った活動ができる者。
- (3) 積極的/主体的/自律的な者。
- (4) 派遣対象国の生活に適応できる者。
- (5) 英語力がある者。TOEFL-iBT (TOEFL Internet-Based Test) の場合得点が 79 点以上、TOEFL (Paper-Based Test) の場合得点 550 点以上、TOEIC の場合得点が 730 点以上であること、IELTS の場合 6.0 以上であること（ただし、Academic Reading と Academic Writing を含むスコアに限る）が望ましい。
- (6) ADB (ADB-Japan Scholarship Program, ADB-JSP) 奨学金、文部科学省国費留学生奨学金を受給している場合は応募できません。また、他の奨学制度により奨学金などを受給している場合、本事業へ応募できるかどうかについては、その奨学制度の取り扱いに従います。詳細は、奨学制度実施母体に問い合わせてください。

3. 募集人員：

- (1) チュラロンコン大学 経済学研究科（タイ・バンコク）1 名
http://www.grad.chula.ac.th/program_inter/econ/bme.html
- (2) フィリピン大学ロスバニョス校 公共政策・開発学研究科（フィリピン・ラグナ）1 名
<http://cpaf.uplb.edu.ph/>

4. 活動内容：

- (1) 現地大学においてコースワークの履修
- (2) 現地フィールドワーク・インターンシップの実施
- (3) その他

5. 派遣時期：

チュラロンコン大学：2016年10月 - 2017年3月（約6ヶ月間）

フィリピン大学ロスバニョス校：2016年8月 - 2017年1月（約6ヶ月間）

6. 助成内容：

助成の内容は次のとおりとします。

- (1) 派遣先までのエコノミークラスの往復航空券を現物で支給します。
- (2) 宿泊費を含むその他の費用は支給されませんが、当プログラム参加者はJASSO(独立行政法人日本学生支援機構)の留学生交流支援制度の奨学金(月額70,000円)申請が可能です。

7. 応募方法

応募者は出願期限までに応募書類を Campus ASEAN 事務局（513 室）へ提出してください。

(1) 提出書類

- ① 様式1：申請書
- ② 様式2：留学計画書
- ③ 英語能力を証明する書類の写し（TOEFL や TOEIC 等の成績表）

(2) 提出期限

2016年5月27日(金) 17:00 必着

※ 派遣先の大学の事情により変更する場合があります。その場合は追って連絡します。

(3) 提出先

国際開発研究科 5 階 513 室 Campus ASEAN 事務局

8. 審査体制と審査基準

国際開発研究科が審査を行い、採否を決定します。審査は、研究計画の実現可能性、英語力などを総合的に判断し行います。必要な場合、面接を行う予定もあります。

9. 結果の通知

決定後、直ちに応募者および指導教員に通知します。

10. 奨学金の申請

Campus ASEAN 長期派遣プログラム参加者は JASSO (独立行政法人日本学生支援機構) の留学生交流支援制度の奨学金 (月額 70,000 円) へ申請が可能です。申請要件は以下の通りです。

- (1) 日本国籍を有する者又は日本への永住が許可されている者。
- (2) 学業成績が優秀で人物などに優れており、かつ、次に定める方法で求められる、在籍大学等における 2015 年度の成績評価係数が 3.00 点満点で原則として 2.30 以上であること。2015 年度の成績が無い場合には、総合的に学業成績を判断し、成績評価係数 2.30 相当以上と認められる者。

	成績評価				
	優	良	可	不可	
4 段階評価 (パターン 1)					
4 段階評価 (パターン 2)	A	B	C	F	
4 段階評価 (パターン 3)	100~80	79~70	69~60	59 以下	
5 段階評価 (パターン 4)	100~90	89~80	79~70	69~60	59 以下
5 段階評価 (パターン 5)	S	A	B	C	F
5 段階評価 (パターン 6)	A	B	C	D	F
成績評価ポイント	3	3	2	1	0

計算式：(「評価ポイント 3 の単位数」×3) + (「評価ポイント 2 の単位数」×2) + (「評価ポイント 1 の単位数」×1) + (「評価ポイント 0 の単位数」×0) ÷ 総登録単位数

- (3) 在学中にフォローアップのための追跡調査 (アンケート) に協力すること。
- (4) 経済的理由により、自費のみでの参加が困難であること。原則として以下の家計収入基準の目安以下に合致するもの。

家計収入 (本人及び配偶者の収入) 基準の目安

大学院 (修士課程)	486 万円以下
大学院 (博士課程)	553 万円以下

- (5) プログラム終了後、在籍大学等に戻り学業を継続する者又は在籍大学等の学位を取得する者。
- (6) JASSO (独立行政法人 日本学生支援機構) が実施する第一種奨学金及び第二種奨学金との併給は認める。これらの奨学金の貸与を受けている場合は、対象者に継続希望の有無を確認のうえ、必要な手続きをとること。また、留学期間中の貸与を休止する場合は、休止手続き (異動届の提出) をとらなければならない。**奨学金の貸与は留学後奨学金の復活などに関わるので、その手続きについて、JASSO 奨学金制度を熟読し、十分に理解してから、名古屋大学の学生支援担当と相談し、判断すること。**他団体などから奨学金を受けている学生は、当奨学金との併用が認められない奨学金もあるので、確認すること。

11. 報告書の提出

受給者は、留学の期間中は在籍確認書および活動状況報告書を Campus ASEAN 事務局に毎月提出してください。また、帰国後には留学報告書および各アンケートを定められた期限内に Campus ASEAN 事務局に提出してください。

12. 助成の取り消し等

受給者において、次の各号のいずれかに該当する事実があった場合、助成決定を取消し、又は支給した助成金の返還を求めます。

- (1) 事前に予定した留学期間に満たなかった場合（その満たなかった期間について支給済みの助成金の返還）
- (2) 応募書類に虚偽の記載があった場合
- (3) 海外渡航の前に本学大学院の学籍を失った場合
- (4) 留学終了後、本学における学習が継続しなかった場合
- (5) 留学等報告書の提出を怠り、督促を受けてもなお提出しない場合

13. 問合せ先

国際開発研究科 Campus ASEAN 事務局（担当：島津）

TEL：052-789-4572

E-mail：shimazu@gsid.nagoya-u.ac.jp

Campus ASEAN ホームページ：<http://www2.gsid.nagoya-u.ac.jp/blog/campusasean/>

※ 応募に必要なすべての様式はホームページからダウンロードできます。